



平成21年11月10日

各 位

会 社 名 大和ハウス工業株式会社

(コード番号1925 東証・大証第一部)

代表者名 代表取締役社長 村上 健治

問合せ先 経営管理本部 I R室長 土田 耕一

電話番号 (06) 6342 - 1400

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期 通期連結業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	1,565,000	45,000	45,000	21,000	36.26
今回修正予想 (B)	1,570,000	62,000	56,500	24,000	41.44
増減額 (B-A)	5,000	17,000	11,500	3,000	—
増減率 (%)	0.3	37.8	25.6	14.3	—
(ご参考) 前期 (平成21年3月期) 実績	1,690,956	73,580	39,855	4,170	7.20

2. 業績予想修正の理由

平成22年3月期の連結業績予想につきまして、雇用・所得環境の悪化や不動産市況の低迷が長引く中、売上高については当初計画通り推移していますが、前連結会計年度より取り組んできた原価の低減と経費削減の成果等により営業利益率の改善が見込まれるため、連結営業利益の予想を修正いたします。

また、当社及び一部の連結子会社が加入している企業年金基金制度について、基礎率等の見積数値を一部見直したことなどに伴い、退職給付数理差異償却費用を営業外費用として約37億円計上する見込みとなりましたので、併せて連結経常利益の予想を修正いたします。なお、年金資産の期待運用収益と実際の運用成果との差異につきましては、

年金資産の運用状況により市場動向次第で大きく変動するため、今回の連結業績予想には見込んでいません。

さらに、不動産価格の下落や競争の激化に伴う収益性の悪化により、収益性の改善が困難と思われる一部の事業用資産について減損損失を110億円程度計上する見込みであるため、併せて連結当期純利益の予想を修正いたします。

(参考資料)

① 事業の種類別セグメント 売上高 通期予想

(単位：百万円)

事業の種類別セグメント	前回予想	修正予想	差異
住宅事業	908,000	925,000	17,000
商業建築事業	451,000	459,800	8,800
リゾート・スポーツ施設事業	61,500	56,500	△5,000
ホームセンター事業	60,800	61,000	200
その他事業	151,000	137,000	△14,000
消去又は全社	(67,300)	(69,300)	△2,000
合計	1,565,000	1,570,000	5,000

② 事業の種類別セグメント 営業利益 通期予想

(単位：百万円)

事業の種類別セグメント	前回予想	修正予想	差異
住宅事業	21,500	34,500	13,000
商業建築事業	40,000	48,000	8,000
リゾート・スポーツ施設事業	0	0	—
ホームセンター事業	1,200	1,200	—
その他事業	4,000	1,000	△3,000
消去又は全社	(21,700)	(22,700)	△1,000
合計	45,000	62,000	17,000

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。今後実際の業績は、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上